



白髪頭！
勝負ニャ！！

…。
分かりました、
アーニャさん。

ずっと不満だった

でも、それも今から
解決するのニャ

リユー達のオスを
アーニャ様が成敗
して…

ミャーには
従わないといけないって

みんなに本気で
分からせてやるニャ！！





はやくその手を動かして仕事を
して下さい

何言ってるんですか
ルノア…?
『ベルのため』
私達はここで
働かせてもらって
いるのですよ?



はあ…これ全部とか
しんどいって…



…!!

じゃないと今日は
ベルを独り占め
しちゃうニヤ

この真面目下変態エルフ
のように仕事しろニヤ!!



そうだニヤ!!



そ…そんな訳
ないニヤ??

それならよかった…
一安心です

シルへの恩を
忘れたとは
言わないでしようね?

まさかとは
思いますが…

仕事場では
ちゃんと真名で
呼びなさい!!

ご、ごめんニヤ!!



クロエツ!!



彼女がミア母さんに頼んでくれたから、私達はベルのために働いています。

ベルも今頃汗水流していることでしょう

リユーはシルの事になると怖いニヤ

ミヤーは持ち場に戻るニヤ

私も、もうちょい頑張ってみようかなー。

ええ、その意気です。



どうしたの...? 顔色よくないよ??

何かあったの?

...



むむ...



そ、そんなに見つめるんじゃないニヤー!!

仕方ないニヤ...

：シルだから話せたのかもしれない

ミヤーが踏み込めない三人の家族としての関係...

最近、居心地がよくない事...

自分だけリユーに触れない事...

そして...

ミャーがよく
からかっていた
あの白髪頭が...

リユード達のオス
だった事...



これがミャーにとって
大きなショックとなり

三人とは
距離をおいたニャ...

でも...
ほんとうは...



...!!



今決めたニヤ!!
白髪頭を
ぶっとばすニヤ!!

ドクッ

ドクッ

…そうすれば
ミヤーがリユウ達の
とつぷになれるのニヤ!!

というわけで…



後は任せたニヤン!!

んもう…
アーニヤったら…



ポッ

ヒッ



はあ...

まだ...

はあ...

まだ...ミヤは
やれるのニヤ...



そんな事しても
ムダなのに...

アーニヤ
なんてすぐ...

ベルさん...
すっごく
強いですから



はあ...

はあ...

ニヤ??
分らせ??

おミヤ...
何言って...



もういいです
今思えばこれは
いい機会ですので

僕がアーニヤさんに
分らせてあげます。



バク

ッ



どうですか...?
おちんちんの感触は?

まっ♡
待つのにゃ...!!

こんな事してッ
後戻りできなく
なるにゃ!?

...いいじゃないですか
僕のお嫁さんに
なるんですから♡

一緒にいっぱい
気持ち良くなりましょ♡

は...はにゃ!?

おミヤーはもう三人
奥さんがいるにゃ??

僕の夢はハーレム
ですから...♡

可愛い女の子に出会ったら
我慢できないんです♡♡

んにゃ!?!♡
そうかにゃ...♡



：僕、知ってたんですよ。
リユースさんに触れないのを
不満に思ってた事：♡

んニヤ!?♡♡

どうしてッ
それをおお!?♡

見てたら分かります…
本当に可愛いですね♡

アーニヤさんが愛おしくて…
いっぱい出そうッ…♡おお…

待つニヤああ!?♡♡

中は…まだ心の準備があ!?

ああ…イっちゃやう…
イっちゃやううう!!♡♡

イツクウウ!!

んニヤああああ??♡
精液あつううう!!♡

白髪頭のちんぽから♡
どくどく出てるニヤマ!?♡

ミヤはこの日はじめて
絶頂を経験した…♡

そして…この快感で白髪頭を
好きになってしまった…♡♡



性欲をもっと満たすために
今から僕の相手をしてくれませんか？

ほっ
ほっ

あはは…
見ての通り
気絶しちゃったので

一回で気絶させて
しまうなんて…

見てる私達もベルの
遅しさに感心しました

はい…少し
やりすぎました…

ベルったら…
派手にやりましたね

もちろんだニヤ
順番にベルの相手を
してやるのニヤ！

ええ…もうこんな
なってしまったのですから
責任とってもらいますよ…

そうそう!!
私達みーんな

はやくベルにおまんこ
ハメられたいんだって!!

ムワッ
ムワッ

ぽっ
ぽっ

ぽっ
ぽっ

ぽっ
ぽっ

そして…

白髪頭の超絶倫っぷりを
これでもかと思われられる
事になったのニヤ…

快感で体が動かないミヤは
みんなのえっちを見せつけられ

…そう言う白髪頭は
有り余った性欲を
リユール達にぶつけ始めた

また後でえっち
しましょうね

アーニヤさん
おつかれでしょうから

スッ

ガッ
ガッ

ほっ
ほっ

ガッ
ガッ

ほっ
ほっ

あのなっがいチンポで
何度も何度もみんなの
奥までズボズボして…

自分のメス達に
たくさんの子種を
注いでいく…♡



普段からは想像できないくらい
喘がせて♡イかせて…♡♡

オスとしての絶対的な
立場を分らせる…♡



可愛い女の子に出会っては
自分のメスにしていく…♡

その姿にミャーは
心から惚れてしまった…♡





これであんなに良かったのニヤ♡
とつぶにはなれなかつたけど
リユール達とは再び仲良くなれた

すっごくいい眺めです…♡
じっくり…やさしく…いっぱい
ペロペロして下さい♡♡♡♡♡

ふう…♡ ああ…♡
あんなかくて気持ちいい…
果てちゃいそうです…♡♡♡

これからはいっぱい
えっちができる…♡

思ってたよりも家族になるって
最高なんだニヤア…♡♡



後日、材料の
買い出しにて…

静かに…
アーニヤさん…♡

そんな喘いだら
バレちゃいますって♡♡

ミヤはえつちに夢中になり、
白髪頭と二人になるとすぐに
やりまくった…♡♡



しかし...こんな所で
えっちだなんて...
アーニヤも中々の
ヘンタイです...♡



ベルとアーニヤ、
すごくラブラブだニヤ♡

ええ...♡
そうですね♡



何度も何度も白髪頭と
激しいえっちをして
愛を育みあった...♡♡

そんな性生活を
続けていたら...

ひん...ミャーは...



アーニャさんは
僕が必ず幸せに
しますから!!

はい
ミアさん!!

坊主…しっかりと
責任をとりな



本当にアンタたちの
愛には負けたよ…
ったく…

アーニャ…ベルさん
おめでとーございます!!



ミャーはベルとの間に
子どもを授かった

色々あったけど最終的に
ミア母ちゃんやみんなに
いっぱい祝われて嬉しかったニャ

子どももできたし
これからは心を入れ替えて
ちゃんと働くのニャ!!

というのは
タテマエで…

やっぱりミヤーには
マトモとかシンケンとか

…そんなの全く
分からないのニヤ!!

それについては

シルが向かって
います…

私の予想では
おそらく…

最中かと。

…はあ
そうかい。

困ったねえ
こんな忙しい時に。

…迷惑をかけて
ごめんなさいニヤ。

悪いとは
思ってるのニヤン…

ごめんなさいッ!!
ベルさん!!

ミアお母さんがお店を
手伝ってほしいって—

チャ



あッ：♥
出るうううッ♥
おとおおお：♥

アーニヤさんッ!!♥

って…シルさん!?

ううッ♥

ひゃまッ♥

ひゃッ♥

ちよっと!!
の、ノックはして
下さいいいッ!♥

ああッ♥
またイクッ!!♥♥

ひゃまッ♥

あああッ!!♥

ひゃまッ♥

シル…ごめんニヤ、
今はお楽しみ中だニヤ

お店の手伝いよりも、ちんぽを
舐め回す方が先なんだニヤ♥

シルには悪いけど…
気にせずご奉仕を
続けちゃうのニヤ♥♥

結局…この後二日中
ベルとアーニヤがお店に
現れることは無かった…

は、はあッ♡
ベルッ♡

いっぱい家族を
つくるニヤああ♡♡

はっ...

そうですね!!
いっぱい:
つくりましょう!♡

はっ...

ほらあ... ベルう...♡
早くそのぶつといちんぽで

ミヤーをいじめて
欲しいのニヤああん♡♡

いっ...

...ッ!!♡

はいッ!!♡
満足するまで
責めますね!!♡

あ...

あ...

ペルはすごいのニヤ♡

ミヤーだけじゃなく、
リューもクロエもルノアも
みんな平等に愛してくれる♡

四人のうち一人を選んで
その他は店で働く…

つまり、今はミヤーの番って
ことなんだニヤ♡♡

お店にいる二人も
今日は既に何回も…♡

…そんなこんなで
ミヤーは幸せな日々を
送れているのニヤ！

ミヤーをお嫁さんを選んで
くれて…ありがとうニヤ♡

…ペル、愛してるニヤン♡♡

